



市内イベントの中止および実施方法の変更について

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、今年度の下記のイベントを中止し、一部実施方法を変更して開催することとしました。

		案内	問い合わせ
9月	2020 健康救急フェスティバル	今年度は、健康・救急をクイズや動画で楽しく学びながら参加するスペシャルWebサイトで開催します。 詳細は8月15日号広報にて案内します。	健康増進課 ☎ 85 - 6167 消防救急課 ☎ 85 - 6343
10月	春日井まつり	代替企画として春日井まつりの歴史の紹介や特産品の販売などを行う予定です。 詳細は9月1日号広報にて案内します。	春日井まつり実行委員会 ☎ 85 - 6622
	ハニワまつり	今年度は中止します。	文化財課 ☎ 33 - 1113

外出するときや人と会うとき、運動をするときも、マスクをきる生活が続いています。誰もが、今、マスク着用を象徴される生活を苦しいと感じていると思います。

昨年、年末から今年、始めにかけて、新型コロナウイルスというウイルスが人々の生活に突然入ってきました。そして、瞬時に世界中に次から次へと広がっていき、今も広がりが続いています。

これまで全く経験したことのない未知のコロナ禍において、国や県、地方の行政機関、大企業から地域のお店屋さん、そして、医療従事者や感染症の研究者などあらゆる分野の人たちが、また、幼児から高齢者まで、全ての人がそれぞれ立場で新型コロナウイルス感染症との闘いの真つ最中です。このような状況においては、一人一人が自分のため、社会のため



めに行動をし、世界の国や研究機関が自国主義を超えて、さらにリーダーたちは明鏡止水のごとく虚心坦懐の思いで、感染防止、生活支援、そしてワクチンの開発など新型コロナウイルス感染症の終息に向けて、今以上に利害を捨てて対応することの必要性を感じています。

地球環境の悪化はとどまることなく、地球の温暖化をもたらす、それによる異常気象で数十年に一度という豪雨が毎年のように日本列島各地を襲い、また、地震も群発しています。

ウイルスの蔓延も、長年にわたる私たち人間の社会生活の結果であると思わざるを得ません。マスクを外したときの爽やかさに、改めてふうふうの生活のありがたさを実感し、自然へのやさしさ、感謝を忘れずに実践する大切さをかみしめる毎日です。



特別定額給付金の申請は済んでいますか

特別定額給付金事務室 ☎ 37 - 0292

新型コロナウイルス感染症による緊急経済対策として、国から1人につき10万円の給付が行われる特別定額給付金の申請期限が間近です。

- ・申請期限を過ぎると受給の意志がなかったものとみなされ、以後の申請は無効となりますので注意してください。
- ・申請書が見当たらない場合は、再発行が可能です。市特別定額給付金事務室まで問い合わせてください。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、申請は郵送でお願いします。

申請期限 令和2年8月31日(月) ※当日消印有効

市役所が次のことを行うことは、**絶対にありません**

- ATMの操作をお願いすること
- 受給にあたり、手数料の振り込みを求めること
- メールを送り、URLをクリックして申請手続きを求めること
- 口座の暗証番号を聞くこと



みんなで減らそう 私たちのまちのごみ

ごみ減量推進課 ☎ 85 - 6222

「ともに取り組み 次世代へつなぐ循環都市 かすがい」

令和元年度のごみ排出量は、平成30年度実績値と比較して増加しています。さらに、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、市民の皆さんに「ステイホーム」を実施していただき、感染拡大防止に一定の効果を上げた一方で、実施期間中のごみ排出量は前年同時期より増加しています。

市民の皆さん一人一人のごみの減量への取り組みが、市全体のごみ排出量およびごみ処理費用の削減につながります。令和10年度の目標達成に向けて、ごみの減量に取り組ましましょう。

また、令和2年7月1日よりレジ袋有料化が始まっています。買い物の際は、エコバッグを利用し、プラスチックを削減しましょう。

	令和元年度実績値	令和10年度目標値	目標達成まで
1人1日当たりごみ排出量(g/人・日)	714g	660g	あと54g削減
1人1日当たり家庭系ごみ排出量(g/人・日)	525g	487g	あと38g削減
事業系ごみ排出量(t/年)	2万1503t	1万9557t	あと1946t削減
資源化率(%)	16.9%	21%	あと4.1%増加
1人当たりごみ処理費用(円/人・年)	1万2068円 ※平成30年度実績値	1万1131円	あと937円削減

一般的な資源、ごみの重さは…



約4g

割り箸



約5g

レジ袋



約28g

ペットボトル(500ml)



約50g

紙袋

災害が発生したときは…

近年の異常気象による豪雨や30年以内に70～80%の確率で発生すると想定されている南海トラフ地震などの大規模災害時には、大量の廃棄物が発生することが予測されます。災害時にも廃棄物の適正な排出に協力してください。

※ 計画はごみ減量推進課、市ホームページ、市の主な公共施設で見ることができます。